

6月のささやまっこだより

令和6年6月1日
篠山保育園
園長 足立善一郎

気温が上がってくると子どもたちの動きも活発になってきます。気の合う友だちに声をかけ、目的の遊びにおかって突進していく感じです。その時の表情が何ともいえないウキウキ感に満ち溢れています。これからは砂遊びや水が加わってのどろみず遊びなど、視覚・聴覚・触覚・嗅覚の全身を使ってのあそびが増えていきます。“乳幼児期にしかできない遊び”、“乳幼児期にやっておかなければならない遊び”ができるように準備していきたいと思います。ところが、遊ぶ環境が準備されたからといっても、思い切り遊びこむことができない子たちもいます。「服がよごれること」が気になってしまい、遊び込めないのです。よごれを気にすることも大切なことです。「きれいでいたい」ということは、みんなが持っている気持ちです。ただ、全身を使ってあそぶ気持ちよさや遊びに熱中する経験をしないまま、幼児期を通過して欲しくありません。それだったら、遊んでよごれて「服がべちょべちょになって、着心地が悪くなった」と不快を感じ、その後体を洗ってすっきりして「気持ちよくなった」と、きれいになった実感を味わってもらえたらと思います。よごれた後は自分で心地よさを求めて、洗ったり着替えたりという行動もとれるようになると思います。もちろん大人の言葉がけも必要です。生活の見通しがもて、子ども自身気持ちよく生活を送れるように進めていきます。



また、3歳未満児クラスの子どもの動きも活発になってきているようです。一生懸命に立とうとしている子、一歩二歩とつたい歩きに挑戦している子、毎日が感動でいっぱいです。そのような中、“かみつき”も多くなってくる時期です。保育園生活にも慣れ、友だちとのかかわりが増えることにより、「おもちゃの取り合いから」、「ただ近くにいたから」、「目の前に腕があったから」とかみつきが起こってしまいます。かみつきが多くなる時間帯や保育室の環境をチェックしながら、かみつきが未然に防げるように配慮し保育をしているところですので、保護者の皆様にもご理解いただければ幸いです。



<お知らせ> 5月27日から永岩未来保育士(常勤)が仲間入りしました。フリーとしていろいろなクラスに入ります。また、さくら組担任の井寺保育士が6月13日から産休に入り、その代替は田中保育士が担当します。よろしくお祈りします。

6月の行事予定表

- 15日(土) 園内研究会【職員会】
- 19日(水) 第1回歯科検診(9:30~)
- 20日(木) 避難訓練
- 25日(火) 誕生会

- 3、17日…えいごであそぼう(ばら組)
- 10、24日…えいごであそぼう(ふじ組)

【保育参観日程】(年間行事表参照)

6月	6月
4日 もも組	11・12日 さくら組
5日 ふじ組	13・14日 すみれ・たんぽぽ組
6日 ばら組	

7月の行事予定表

- 9日(火) プール遊び始まり
- 13日(土) } おとまり会(ばら組)
- 14日(日) }
- 19日(金) 避難訓練
- 25日(木) 誕生会

13日は、おとまり会のため、他のクラスは午後2時までにお迎え下さい。

- 1日…えいごであそぼう(ばら組)
- 8日…えいごであそぼう(ふじ組)

どんどん おおきなあれ!

今、ばら組は野菜3種類を、ふじ組は、「ひまわり」を育てています。ひまわりの種から芽が出てきた時の驚き、野菜の苗が日に日に伸びていくようすに感動する子どもたちです。これからの生長の過程で、虫などの天敵が現れたり植物の生命力の力強さに驚かされながら、そして毎日の水やりもみんな交代しながら、頑張ってお育てしてもらいたいと思います。



『どどんこ どん!』 日本太鼓の練習はじまる

年長ばら組が取り組む「日本太鼓」の練習が始まりました。それぞれの子どもたちが担当する太鼓(平胴太鼓や竹太鼓等)も決まり、うれしさや緊張した面持ちでばちを持ち、思い切り太鼓をたたきます。思い切りたたいた後は、少しずつリズムに合わせて練習開始。「右手で太鼓をたたいている時は、左腕はまっすぐ上に伸ばす」や「強くたたいたり、やさしくたたいたり」と、考えて動かさなければなりません。そして、リズムに合わせてたたくことも難しいです。たたけなくて壁に突き当たる子も出てきますが、その壁を乗り越える力をつけてもらえればと思い取り組んでいきます。保護者の皆さんも「君なら絶対できる」と励ましの声かけをお願いします。



自立への旅立ちは1歳児からはじまる!

1歳を超える頃、ひとりで立ち歩くようになります。歩くという、新しい力を獲得したことで、未知なる世界を確かめるようになり、人に頼らず、主体的に動き出すことが、自我の育ちへつながっていきます。立ち上がったことで手が自由になり、何でもさわって確かめるなど、新しいものへの興味はつきません。自由に探索や行動ができることで、探索心や好奇心も育ちます。意味のある言葉を獲得し、自我も芽生えます。自分が誰であるかわかると、子どもの思いやつもりは表情や行動に表れるので行動をよく観察することが、1歳児を理解する上で大切です。

また、基本的な生活習慣の基礎ができていく時期でもあります。靴下をはく、歯を磨くなど、大人に丁寧にやらせたり、手助けしてもらいながら身につけていきます。丁寧にやらせらることで、「自分でできることは自分でやろう」という気持ちも育っていきます。何よりも大切にしたいことは、自分でやれることへの喜びをつなげていくことではないでしょうか。

「0歳児から5歳児 行動の意味とその対応」今井和子著

